

日本痛風・尿酸核酸学会

総会議事録

開催日時：令和3年2月12日（金）13:20～13:40

形式：オンライン会議

金子理事長が議長席に着き開催を宣言した。

審議に先立ち議長より本日の出席状況は下記の通りとなっております

会員数 526名 出席者 50名 委任状提出者 252名

定款第19条の規定により総会が成立することが報告された。

続いて下記審議が行われた。

議案1 令和2年度決算・監査報告 細山田庶務幹事

貸借対照表・正味財産増減計算書に基づき決算報告の説明があった。

資産合計は52百万円、負債合計は2百万円となり、正味財産合計は50百万円となった。前年度との増減では資産の部は21百万円増、負債の部は40万円減となり、21百万円増となっている。

当期増減額30百万円が前年度残高20百万円に加算され、正味財産期末残高は50百万円となった

決算内容については税理士法人の確認や笹田監事と板倉監事からの監査を受けている。

賛否をはかったところ承認された。

議案2 令和3年度予算案 細山田庶務幹事

予算案に基づき説明があった。

今期予算としては経常収入27百万円、経常費用25百万円と見込んでいる。

予算案について賛否をはかったところ承認された。

議案3以降は金子理事長より報告及び説明。

議案3 2023年 第56回総会会長の選出

第56回総会会長に防衛医科大学校分子生体制御学講座の四ノ宮成祥先生が選出され評議員会で承認されたことを報告し、賛否をはかり決定した。

議案4 令和2年度学会賞受賞者決定報告

学会賞受賞者は虎の門病院集中治療科・循環器センター内科・高齢総合診

療部の桑原政成先生に決定した。

議案5 令和2年度優秀論文賞受賞者決定報告

最優秀論文賞は福井大学の此下忠志先生、優秀論文賞は福井大学の大岩加奈先生に決定した。

議案6 編集委員会報告と優秀賞について

1. 令和2年J-Stageアクセス数・・総計：355,901 月平均：29,658
2. 学会誌の将来的なIFの取得・・取得する為には英文学会誌を持ち英文原著を年間10編以上5年間発刊する事が条件となっており、学会全体の取組が必要なため、理事会で引き続き検討する。
3. 編集委員の改選・・堤委員と細山田委員の任期満了に伴い桑原先生と仲川先生の推薦があり承認された。
4. ガイドライン第3版英語版・・昨年3月にサプルメント（別冊号）として学会誌に公開した。
5. 編集委員会内規の変更・・学会名変更などに伴う変更を行った。
6. 優秀論文賞及び学会発表での賞設立について

①優秀論文賞の賞金額

従来は総額50万円の範囲で運用していたが、今後（45巻掲載分の審査から）は最優秀論文賞を20万円・優秀論文賞を10万円と賞金額を明確にする。

②優秀論文賞（メディカルスタッフ部門）の新設・・新設する方向で引き続き運用方法等を検討する。

③学会発表での賞の設立

学会での優れた発表に対して副賞付きの新しい賞・・新設する方向で引き続き運用方法等を検討する。

議案7 認定痛風医資格制度委員会報告

1. 令和2年度認定痛風医申請は新規申請者4名、更新申請者5名あり、委員会で承認され理事会で決定した。令和3年4月1日より認定痛風医は59名となる。
2. 第9回教育研修会は2月14日に開催し19名の参加があった。
3. 令和2年度認定痛風医試験はコロナ感染防止の点から中止とした。
4. 財団の研修会は自宅学習方式で開催され単位は従来通り7点とした。
5. 第10回教育研修会は学会総会に合わせて、2月11日～14日にオンライン開催（オンデマンド形式）にて開催されている。

議案 8 利益相反(COI)委員会報告

1. 規約の変更

- ・学会誌名称を「痛風と尿酸・核酸」に変更
- ・第9条内の文言の変更 総務委員会を理事会に、利益相反細則検討委員会を利益相反委員会に変更

2. 編集委員会から意見を求められた件についての説明

編集委員会からの問い合わせの件について検討を行い、COI なしとの判断を行った。COI についての当学会の規約は何ら変更すべき点はなく、今後も規約に則って判断していただきたい。

議案 9 ガイドライン広報委員会報告

1. 今年度の広報・啓発・普及活動

- ・共通広報啓発活動用スライドを、今年度新たに開設した学会ホームページの中の会員専用ページに公開
- ・ガイドライン発刊後アンケート調査を 10/16～11/15 にホームページで実施し 62 名の回収があった。

2. ガイドライン中国語版発行について

全翻訳が終了し 6 月に 2000 部を 58 人民元(日本円 900 円前後)で発行する予定。

3. 今後の活動として患者向けクリニカルクエスチョンについての動画をホームページに掲載する事を計画している。

議案 10 ガイドライン第3版追補版の作成について

昨年ドチヌラドが上市されたことを受けて、第2版でのフェブキソスタットと同様に、ドチヌラドを追加した追補版を作成する。執筆をお願いする先生には依頼状を送付してご協力をお願いしている段階であり、2022年1月頃の発刊を目指している。

議案 11 ありかた委員会報告

1. ダイバーシテイ推進委員会の設立

他学会との情報交換や本学会の知名度を上げる為に、本学会でもダイバーシテイ推進委員会を設立することが提案され、理事会、評議員会で承認された。活動内容や運営方法などについては、ダイバーシテイ推進委員会で検討して、理事会に諮る。委員は金子、細山田、森崎裕子、森脇、森田、箱田の6名。

2. 財務面の強化、学会員の増加策について、財政的に逼迫はしていない

が、学会の活性化の為に他職種にも声かけを行う。
ホームページ上でのバナー広告についての提案があったが、他の学会でもまだ導入しておらず今後の再検討課題とした。

議案12 評議員の選出

評議員として下記3名の先生に新たにお願いする事になった。
防衛医科大学校 河村優輔先生、仁愛大学 岸慎治先生
防衛医科大学校 中山昌喜先生

議案13 監事の選出

現在の2名の監事に加えて新しくペガサス馬場記念病院 嶺尾郁夫先生
にお願いする事の賛否をはかったところ、承認された。

議案14 庶務幹事報告

学会賞内規の第4条(2)推薦方法について自薦文言を削除し名誉会員・
理事・監事・評議員に書面若しくは電磁的な方法により候補者の推薦
を求めると変更した。



議案15 その他

第55回日本痛風・尿酸核酸学会津谷寛総会長の挨拶

閉会挨拶 金子理事長

上記議事録の内容が正確であることを証する為、定款第21条の規程により
議長及び出席理事2名が議事録署名人としてこれに記名押印する。

令和3年2月12日

議長（理事長）	金子 希代子	
議事録署名人（理事）	細山田 真	
同	津谷 寛	